

ヒアルロン酸注入

治療法について

皮膚の下に、細い針でヒアルロン酸製剤を注入することで、しわや溝を目立たなくする治療方法です。

成分

主成分は、バイオテクノロジーによって生産されたヒアルロン酸です。

ヒアルロン酸はもともと体内で自然に作られる物質であるため、注入剤として安全であるとされています。製剤には痛みを和らげるリドカイン入りのものもあります。 ※アレルギーのあるかたは、必ずお申し出ください

効果

しわや溝を一定期間目立たなくしますが、製剤や個人によって差があります。

通常は1回の注入効果の持続期間は6ヶ月～2年とされています。時間の経過とともに効果が消失しますが、再注入によって同様の効果が得られます。

副作用（有害事象）

重大：顔面における類似の注入剤に関して、血管内注入又は組織圧迫に起因する一過性又は非可逆性の失明、脳卒中（虚血、出血、梗塞）の誘発。

その他：小結節、数珠状小隆起、肉芽腫、アレルギー反応、過敏症、ヘルペス、修正不足・減少、位置のずれ、壊死（血管塞栓・血管圧迫に起因）、無感覚・感覚異常、疼痛、腫瘍、感染、血管性浮腫、変色・着色、血腫・斑状出血、掻痒、炎症反応、発赤・発疹、腫脹・浮腫、その他（自己免疫疾患、眩暈、しわ・瘢痕の深化、乾燥肌、呼吸困難、インフルエンザ様症状、頭痛、不快感、筋無力症、悪心、瘢痕、自己免疫症状・結合組織疾患、失神、血管攣縮、視力障害など）

リドカイン製剤を含むものによる副作用

ショック・意識障害・呼吸困難・振戦・痙攣・悪性高熱、眠気、不安、興奮、眩暈、悪心・嘔吐など過敏症による蕁麻疹などの皮膚症状

注意点

- ・本品の成分またはアミド型局所麻酔に対し過敏症の既往のあるかたは使用できません。化粧品でも同様。
- ・グラム陽性菌由来蛋白に対し過敏症の既往歴のある方は使用できません。
- ・過去に同系の治療を受けた事がある方はお申し出ください。
- ・妊娠中、授乳婦、18歳未満の方に対する安全性は確認できておりませんので、お申し出ください。
- ・アナフィラキシーの既往、過敏症体質の方は必ずお申し出ください。
- ・連鎖球菌性疾患（再発性の咽頭痛、急性リウマチ熱など）の既往歴のある方、及び心臓合併症を伴う急性リウマチ熱がみられる方はお申し出ください。
- ・自己免疫疾患の既往や免疫抑制療法を受けている方はお申し出ください（過剰な反応がおこることがあります）
- ・ケロイド形成、肥厚性瘢痕や色素異常を発症しやすい方はご相談下さい。
- ・出血傾向（抗凝固剤や非ステロイド性消炎鎮痛剤、アスピリン製剤内服なども含めて）のある方は、あざや出血がおこりやすいため必ずお申し出ください。
- ・レーザー治療などその他の皮膚摩擦を伴う治療を受けている又は受ける予定の方はお申し出ください。
- ・リドカイン入りの製剤使用の場合、心刺激伝導障害のある方はご相談ください。
- ・リドカイン使用の場合、重篤な肝障害又は腎障害のある方は、医師にご相談下さい。
- ・ポルフィリン症の方は、医師にご相談下さい。（急性腹症、四肢麻痺、意識障害などの急性症状を誘発する恐れがあります。）
- ・リドカイン入りの製剤を使用の場合、クラスⅢ抗不整脈薬（アミオダロン等）、アミド型局所麻酔剤（メピバカイン、ブピバカイン等）、クラスⅠ抗不整脈薬（リドカイン、キニジン等）は医師にご相談下さい。

治療後

- ・ 注入した部分と周辺をマッサージなど、摩擦行為をしないようにしてください。
- ・ 適量注入でも 2～3 日は膨らみ気味になることがありますが、1 週間程度で自然な仕上がりに落ち着きます。ただし、過剰な注入により膨らみすぎやしこりが残り、1 週間しても改善しない場合は医師にご相談下さい。それ以外でも、変化などで気になることがあれば、すぐにご連絡ください。
- ・ 当院では効果判定のため、注入 1 週間後に来院して頂いております。
- ・ 抗凝固剤などを服用している方は、再開に関してご相談ください。
- ・ 処置後 24 時間は、激しい運動や日光や高温への長時間の曝露、飲酒はさけてください。（発赤、膨張、搔痒感などが起こる可能性があります）
- ・ 処置後後 3 日程度は、血圧が上昇する行為（激しい運動、サウナ、長時間の入浴など）は避けて下さい。
- ・ 処置後 1 週間程度は、歯科治療、顔面のマッサージ、エステ、圧迫を避けてください。

ヒアルロン酸注入同意書

以上の内容を理解し、納得しました。

リドカイン製剤使用に関して
アレルギーなし ・ アレルギーあり

年 月 日

住所：

氏名：

医療法人 広島ステーションクリニック 美容皮膚科
医師 石田 清隆